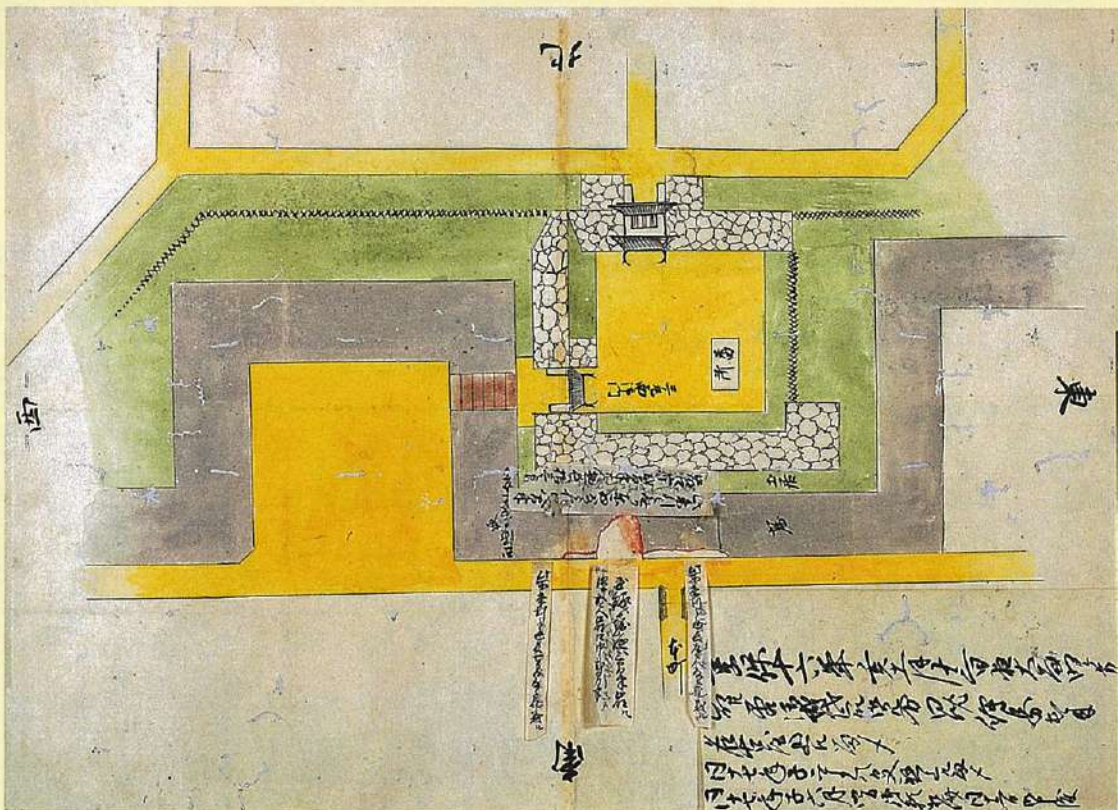


公益財団法人 **犬山城自帝文庫**

歴史文化館だより

2025.3.8



大手門修復絵図 享保16年 (1731)

犬山城の大手門付近が描かれています。右側の黄色い四角形が大手枡形で、石垣で囲まれ、大手口（左の四角形）との間の堀には橋が架かっていました。堀の南側で赤く着色されているのは享保16年11月の大雨の被害場所で、堀端が崩れ、特に中央部分は大きくえぐれたことが示されています。本図のおよそ西半分にあたる区域（犬山市福社会館跡地）が令和2年から3年にかけて発掘調査されました。

※この絵画は4月24日(木)～5月27日(火)に開催する企画展「犬山城の絵図」で展示します。

犬山城大手門枳形跡のこれから

犬山市福祉会館跡地が犬山市により発掘調査され、幅約17.5メートル、深さ6.5メートル以上の堀が見つかったことは、本誌18号ですでお知らせしました。また、堀の北側に沿って築かれた土塁の痕跡や、大手橋の橋脚石垣の一部なども確認されています。

ここは犬山城の正面玄関にあたり、城内と城下町を区分する場所です（表紙の絵図参照）。発掘調査の成果を踏まえて令和7年2月8日に犬山市が市民説明会を開き、たくさんの人が聞きに集まりました。市によると、2月中に文化庁へ史跡（犬山城跡）の追加指定の意見具申書を提出し、年内には追加指定される見込みといます。跡地の整備計画は引き続き検討を重ねて基本設計・実施設計をおこない、令和9年度には整備工事に着工する予定です。整備には、史跡の価値を発信し、犬山城の見学・学習の起点となる場所とすること、入城ルートや堀・土塁の規模の大きさを体感できるような工夫をする方向で検討されています。

令和7年度催し物のお知らせ（予定）

4月		4月24日㊥～5月27日㊥ 企画展 犬山城の絵図
5月		
6月	14日㊤ 古文書に親しむ1 / 視察研修会	
7月	12日㊤ 古文書に親しむ2	
8月		
9月	28日㊤ 古文書を読む1	
10月		10月29日㊥～12月2日㊥ 特別展 城主の旅
11月	古文書を読む2 / 犬山城・上廣 歴史文化フォーラム	
12月		
1月	常設展 新春を寿ぐ	
2月	常設展 梅満開	
3月		

常設展 犬山城と城下町（企画展・特別展期間外）
*展示替えにより休館する場合があります

◆ 白帝文庫友の会入会のご案内 ◆

白帝文庫友の会は、犬山城白帝文庫の活動の支援をするとともに、会員相互の親睦を図り、文化の向上に寄与することを目的としています。会員は随時募集しています。

特典

- ①犬山城・城とまちミュージアムに会員証で何回でも入館できます
- ②特別展の招待券をお送りします
- ③視察研修会や講座など催し物の案内をお送りします
- ④「特別展図録」と「歴史文化館だより」をお送りします

年会費

3,000円

会員期間

お申込み受付後から1年間
（会員証をお送りします）

お問い合わせ

入会案内をご希望の方は下記へご連絡ください
〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券65-5
TEL 0568-65-1707 FAX 0568-62-2055

公益財団法人 犬山城白帝文庫歴史文化館

〒484-0082 愛知県犬山市犬山北古券8（城とまちミュージアム内）

TEL/0568-62-4700 FAX/0568-61-5765

E-mail/info@inuyamajohb.org